

直方市議会議員 《2026年1月号》

やすなが浩之 市政レポート

スピード
誠意

Topics ①

新幹線新駅の設置

市民の皆さまの生活や地域経済に大きな影響を与える可能性をもつ「新幹線新駅構想」に関し、今年度から九州経済調査協会による実現可能性調査が進行中。



「調査とスケジュールの進捗」

九州経済調査協会による広域調査を進め、企業ヒアリングや周辺自治体との意見交換を踏まえ、期成会設立に向けた基本構想を整理中。当初の2026年3月設立は首長選を考慮し6月以降へ調整され、市長が周辺自治体へ参加を働きかけている。期成会設立後に県との正式協議、JRとの協議へ進む予定。開業時期は未定だが建設には数年を要する見通し。

「財政負担と費用対効果」

市単独で100億円規模となる可能性があり、国庫補助は現状見込めないため、県・JRとの負担軽減策を探る段階。新駅により進学・就職の選択肢拡大や人材確保などの効果が期待されるが、人口増や経済効果の具体的数値はこれから検討。

「広域連携と地域振興との一体化」

新駅は宗像市・宮若市・鞍手町・小竹町との広域振興の核として位置づけられ、製造業・農水産業・観光などを面で結ぶ基盤として期待される。新幹線・在来線・高速道路の結節点としての新たな市街地形成も検討中。国の地方創生や県の方向性とも整合し、県も後押しの姿勢。

「市民合意と情報発信」

総合計画の中で市民アンケートは実施済みだが、新駅に特化した追加調査は未定。情報発信も計画具体化後に特集ページ等を検討。市民・事業者・学生の意見の取り込みは、今後の課題として整理している。

↓議会で要望しました↓

- 調査段階の透明性確保と、地域全体を巻き込む合意形成の工程をより明確にし、市民に見える形で前進状況を共有していくこと
- 費用対効果の具体的指標や最悪シナリオを含めた比較検討を早期に示すとともに、市民生活への影響を可視化し、将来世代への負担も踏まえた慎重かつ透明な議論を行うこと
- 広域連携の具体的な役割分担や、地域資源をどう一体運用するのかといった実行段階の設計をより具体的に策定し、交通結節点としての都市像も市民に見える形で早期に示すこと
- 意見募集の仕組み、情報発信の頻度・内容、双方向の対話の場を早期に明示し、市民が主体的に関われるプロセスを構築すること

Topics ②

保健福祉センターの建設

来年4月から運用開始予定の「直方市保健福祉センター ゆずりあ」は、健康づくり・介護・子育て支援・障がい福祉など、市民の福祉行政の中核施設です。



「高齢者支援と地域包括ケア」

地域包括支援センターは市役所に置き、社会福祉協議会と連携して介護・認知症予防の啓発拠点となり、医療・介護・福祉関係者の交流や研修を強化する。

「子育て・母子保健」

事業の拠点は本庁の「こども家庭センター」、乳幼児健診は「ゆずりあ」で実施予定。発達障がい児等の療育充実が見込め、新年度には栄養指導室を使った離乳食教室の再開を検討している。

「メンタルヘルス」

社会福祉協議会・教育支援センターと連携し、心の健康づくりを強化。子育て・介護負担や孤立など幅広い相談に応じる総合窓口として、人員と連携体制を整える方針。

「災害対応」

直接の福祉避難所ではないが中央公民館を補完し、防災倉庫やマンホールトイレ、炊き出し、自家発電・太陽光などを整備。庁舎機能の一部バックアップも可能で、大規模災害時は社協がボランティアセンターを運営する拠点として活用する。

Topics ③

新産業団地の造成

「直方・鞍手新産業団地」は、本市の自主財源確保の上で非常に重要なものであり、近い将来における本市の独自政策の実施可否を左右する事業です。



「工期の延長」

令和7年度竣工・令和8年度分譲開始を目指していたが、ため池跡の軟弱地盤改良や廃棄物除去・土壌入れ替えが必要となり、分譲開始は約半年、全体竣工は約1年遅れる見込み。県の企業誘致状況は不明だが、市にも問い合わせが増えており、データセンター事業者の視察対応も行っている。

「税収への影響」

データセンターを誘致できれば、固定資産税を中心に「年間数億円規模」の増収が見込まれる。

「新産業団地以外の工業団地計画」

産業振興ビジョンに基づき工業団地適地調査を実施。財政制約で行政主導の大規模造成は難しいが、デベロッパーや県企業立地課との連携を強め、民間主体の新たな団地造成の可能性を積極的に探っていく方針。

発行人：直方市議会議員 安永 浩之

連絡先：やすなが浩之市議会議員事務所

住 所：直方市知古1丁目6番1号

メー ル：info@h-yasunaga.jp

電 話：0949-28-8087

↑携帯電話転送で、いつでも相談を受け付けています。

バックナンバーは公式HPをご覧ください
ホームページ <http://h-yasunaga.jp>

やすなが浩之

検索



ブログ



Facebook



LINE



直方市議会議員

やすなが浩之【4つの重点政策】

直方市議会議員やすなが浩之 市政レポート《2026年1月号》

皆様にお約束した政策に関して

本市の状況を報告します！

地域と地元企業の活性化

◆プレミアム商品券事業

消費需要喚起を目的とし、プレミアム率20%、発行総額1億2千万円の地域商品券を発行する事業を行いました。市民の皆様を優先して販売し、「共通券」「地域券」の2種類セットを発行しました。

◆「エリアマネジメント事業」を継続

ふるさと財団の支援を受けて進めている三年目の事業について、その取り組みの全容をお示ししていくと共に、その中で描き出される計画に沿った事業を展開します。

◆「直方市合同企業説明会」を開催

市内の事業者が高校生等に対して自社のPRを行うことができる機会を設ける等、引き続き、企業の人手不足解消・雇用確保を支援する取り組みを行っています。

◆「地域防災会議」の取り組みを継続

令和6年度から、各小学校区において、自治会や民生委員、シニアクラブ等の代表者の皆様と、地域の防災について議論するためにスタートしています。



子育て環境の整備

◆「中学生の海外派遣事業」の対象者拡大

グローバル人材の育成を目的として開始した本事業の対象者を高校生まで広げました。対象者の拡大と併せて、募集人員を増やし、今年度も継続して実施しています。

◆「母子手帳アプリ」に新たなサービスを追加

妊娠中の体調管理、子どもの成長記録、予防接種スケジュール管理や直方市からの情報配信に加え、子育てイベント情報、子育て支援施設検索など、デジタルの活用による子育て世帯の負担軽減にも取り組んでいます。

◆「潜在保育士」の再就職支援を推進

結婚・出産等により一度離職した後、あらためて職場復帰を目指す保育士の再就職を進める補助事業により、保育士不足の解消にも取り組んでいます。

◆「学校規模適正化」の検討

直方市にとってちょうど良い学校の規模や学校の配置について検討し、児童生徒の教育条件を改善することを目的に、検討を行っています。



医療福祉環境の充実

◆「健康管理アプリ」によるサービスの提供

運動習慣の定着・健康寿命の延伸に向けて、参加型イベントの開催に加えて、市民の皆様が、楽しみながら健康づくりに取り組める環境の整備に努めています。

◆「のおがた元気ポイント事業」の利用団体の拡大

高齢者の健康づくりや介護予防を推進するため、市や地域で行っている活動に参加したり、健(検)診を受けたりすることでポイントを集める事業です。

◆「保健福祉センター」のハード・ソフト両面での準備

今年度、いよいよ、建設工事が完了する見込みである本施設に対し、年度末のオープンに向けて着実に準備を進めています。

◆「新生児の聴覚検査」にかかる費用の助成を開始

生後間もない時期に産科医療機関等で実施している耳の聞こえの検査に対し、対象者一人につき5,000円を上限とし、実際に検査に要した額と上限額のいずれか低い額を助成しています。



災害対応力の強化

◆「市体育館空調設備整備事業」を計画

災害時の避難所としても機能している直方市体育館へ空調設備整備を行うことを計画しています。

◆「地域の団体が設置する防犯カメラ」への一部助成実施

街頭犯罪の抑止や子どもの安全の確保に向け、県の助成制度と併せた設置費用の一部補助も実施しています。

◆「機能別消防団」を市役所内に設立

市役所職員有志による消防団を新たに設立し、平日日中の災害対応力強化にも努めています。

◆「トイレトレーラー」の導入

筑豊地区で初となる災害時の避難場所などに設置する移動式のトイレトレーラー1台の購入計画を進めています。



【直方市の大型事業】直方市が現在着手している事業、今後、実施予定の事業についてご紹介します。

① 新幹線新駅設置に向けた検討

表面のトピックスで取り上げた通り、今年度から九州経済調査協会による実現可能性調査が進行中であり、宗像市・宮若市・鞍手町・小竹町との連携を強めながら、県への要請・働きかけを行うための「期成会」設立を目指しています。当初の2026年3月設立は首長選を考慮し6月以降へ調整され、市長が周辺自治体へ参加を働きかけているところです。新駅により進学・就職の選択肢拡大や人材確保などの効果が期待され、新幹線・在来線・高速道路の結節点としての新たな市街地形成も検討しています。

② 直方・鞍手新産業団地の造成

企業誘致の受け皿となる工業用地として植木地区と鞍手町中山地区に跨る約22haを福岡県及び鞍手町と共同で整備しています。この産業団地は、国策として進められているデータセンター等の誘致を目指しています。

③ 天神橋架け替え

築約88年が経過し老朽化が激しく、交通渋滞も頻繁に発生していることから、早期の架け替えが必要な橋梁です。現在、県が架け替えの計画を行っています。

④ 直方市保健福祉センター「ゆずりあ」の建設

- 1月~3月上旬:備品搬入
 - 3/15:開館記念式典・基調講演、3/16~
 - 3/22:市民への一般開放及び集客イベント
 - 3/23~3/31:入居団体等の引っ越し
 - 4/1~:保健福祉センター運用開始予定
- のスケジュールが予定されており、数年来にわたって市民の皆さまより要望いただいていた施設がいよいよ目の見えることとなります。

